

民間企業職員の研修受入れの概要

1 目的

民間企業における業務の進め方や柔軟な発想などを持った民間企業職員を受け入れることで、行政運営の活性化を図り、もって市政の能率的な運営に資することを目的とする。

2 研修員

京浜急行電鉄株式会社

新しい価値共創室

参事 渡辺 聡子（わたなべ さとこ） 50歳

3 研修期間

令和5年9月16日から令和7年9月15日までの2年間

4 研修所属

三浦市経済部 観光プロモーション担当課長（研修員）

5 研修職務等

(1) 経済部の取組

ア 京浜急行電鉄株式会社からの民間企業職員の研修受入れは、自治体と民間のお互いの行動原理を相互理解することで、有機的な業務への取組、相互補完的な政策推進に機能している。

イ 特に「異業種間連携による新たな観光振興」として、国や県、市内関係団体や企業、大学などとの連携による地域経済振興の推進に取り組んでおり、アフターコロナで生じる新たな課題に対する施策を生み出すとともに、市職員が民間マネジメント等を習得する実践研修としても機能している。

ウ また、持続的な地域経済振興の推進体制定着のため、一般社団法人三浦市観光協会への施策支援を行っている。

(2) 研修員の主な分掌事務

ア アフターコロナにおける持続可能な地域経済振興に関すること。

イ 誘客の推進に関すること。

ウ 企業連携による新たな地域経済振興に関すること。

エ 京急及び関連グループ会社並びにその他協賛企業との連絡調整に関すること。

(3) 研修員に期待する役割

ア 京急をはじめとした企業連携強化と新たな地域振興策の実現

イ 産学官連携による市の政策推進及び民間のマネジメント手法による事業への落とし込み

ウ 地域観光関連団体等へ経営等のノウハウ提供による観光プロモーションの高度化

以上